

小山高校野球部 後援会通信

令和3年度

第1号

令和3年10月1日発行

◇王者“作新”を苦しめるもベスト16で敗退（夏）

第103回全国高等学校野球選手権大会栃木大会の3回戦で、小山高校は夏の大会10連覇を目指す作新学院高校と対戦し、最後まで1点を争う好ゲームとなりましたが、惜しくも2-3で敗れました。球場に足をお運びいただいた多く会員の皆様におかれましては、大変お忙しいなかご声援賜り誠にありがとうございました。

【1回戦】

小山 13-0 宇都宮東
(5回コールド)

【2回戦】

小山 7-0 栃木農業
(7回コールド)

3回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
小山	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
作新	2	0	0	1	0	0	0	0	×	3

◇初戦ノーヒットノーランで勝利も3回戦で敗退（秋）

第74回秋季栃木県高等学校野球大会の2回戦で、小山高校は鹿沼東高校と対戦し、エースの大澤奏次郎投手が無四球、失策1で見事ノーヒットノーランを達成し、チームも4-0で勝利しました。しかし、続く3回戦で今大会シードの高根沢高校に惜しくも3-5で敗れました。

◇春季大会・選手権大会前に野球部へのボール贈呈式を実施

4月3日（土）と6月26日（土）に大会を目前に控える野球部への激励のためボール贈呈式を行いました。贈呈式では、増子会長及び役員から選手達へ激励の言葉が送られ、谷島主将と斎藤監督から大会への意気込みが語られました。



◇鹿島学園（茨城県）甲子園初出場

本会顧問 鈴木 博識 様が監督を務める鹿島学園高校（茨城県）が初の甲子園出場を果たされました。これを受けて本会から御祝として選手用のソックスを贈呈いたしました。



◇日本高野連「育成功労賞」受賞

本会副会長で元小山高校監督 中田 憲一 様が（公財）日本高等学校野球連盟の「育成功労賞」を受賞されました。これを受けて本会から御祝を贈呈いたしました。



◇OBによる軟式野球チームを設立

定期総会で承認をいただいた「野球部OBによる軟式野球チーム」をこの度設立いたしました。チーム名は「OYM Backer（オーワイエム バッカー）」とし、“OYAMA”の頭文字と“後援者（Backer）”が由来となっております。

メンバーは令和元年～令和3年卒のOBを中心に構成され、小山市軟式野球連盟に加盟し10月3日から開催される小山市軟式野球総合選手権（秋季）大会から活動をして参ります。

なお、設立にあたり、てつか歯科医院様、後援会会長 増子 浩司様より多大なるご支援を賜りましたのでご報告させていただきます。役員、選手一同心より御礼申し上げます。

軟式野球チームの活動は、本会ホームページでも情報を発信して参りますので、ご支援、ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。



◇寄贈等のお知らせ

栃木カントリークラブ様より乗用カート2台を寄贈いただきました。これを受け、後援会で整備用器具を購入し、グラウンド整備の際に有効に活用させていただきます。

また、本校グラウンドに使用されず保管されていた軽トラックを、協賛企業である鈴成自動車整備工場様に無償で処分していただきました。

◇グラウンド照明をLED化

本校グラウンド照明をLEDに交換する工事を行い、夜間でもボールを使用した練習が可能になりました。なお、本工事は学校及び県教育委員会との度重なる協議のうえ実現し、後援会予算及び甲子園出場時の寄付金を活用の上、協賛企業である有限会社長電気工事店様の協力のもと工事を実施いたしました。

◇後援会事務局より会員の皆様へ会費納入のお願い

令和3年度分の会費につきましては、8月20日（金）を納入期限とすること案内の通知を送付させていただいております。後援会では、野球部への支援はもちろんのこと会員相互の交流等を目的にお預かりした会費をもとに運営をさせていただいております。新型コロナウイルスの影響により会員の皆様と交流の機会を設けることが難しい状況が続いておりますが、後援会の活動や趣旨をご理解いただき、会費の納入をよろしくお願い申し上げます。

<年会費区分> OB・一般：5,000円、学生：3,000円、協賛企業：10,000円（1口以上）

<振込先> ①足利銀行 小山支店 普通 5131647 栃木県立小山高等学校野球部後援会

②栃木銀行 小山支店 普通 1058400 栃木県立小山高等学校野球部後援会